

平成25年度 長岡市・三島郡 活動報告

部長 坂井 育男

1 研究主題（基本方針）

- (1) 全職員が一体となった校内指導体制の確立をはかり、心の通った指導ができるよう指導・援助する。
- (2) 児童理解を深め、児童の自発性・自主性、自律性を促す生徒指導ができるよう指導・援助する。
- (3) 各学校間や家庭、地域関係機関との連携を密にし、協力して指導に当たる。
- (4) 「長岡っ子の家庭生活」の活用・充実を図る。

2 研究の概要・実際（主な取組）

- (1) 生徒指導講演会（6月13日 長岡リリックホール）
演題「私が出会ってきた子どもたち」
講師 バックアップ' 3 L' 【Life,Live,Love】 主宰
高森 美紀子 様
- (2) 児童交歓会（8月21日 新町小学校）
長岡市内の全小学校の児童会代表が一堂に会し、「自らの力で自分たちの生活をつくり上げる児童会をめざし～絆を深める取組を中心に～」をテーマに実施。リクリエーションで親睦を深めたり、6つの分科会に分かれ、絆づくりの取組を紹介し合った。
- (3) 生活指導主任研修会（5月14日・10月16日 長岡市立劇場）
①第1回 「家庭生活実態調査」実施計画の審議
②第2回 「家庭生活実態調査」実施結果の分析
- (4) 関係機関との連携（10月16日 小・中・特別支援学校生徒指導連絡会 長岡市立劇場）
長岡市教育委員会と連携した子どもふれあいサポートネットワーク、保護司会、警察（学警連、少年サポートセンター等）、市P連等関係機関との連携推進。
- (5) 「いじめ見逃しゼロスクール」の実践と取組
各学校では、いじめ根絶に向けて、生活アンケート、教育相談、縦割り班活動、児童集会（いじめ根絶劇）、友達のよさを紹介する表示等、様々な活動を展開。
- (6) 小中連携推進事業（教育委員会との連携）
各中学校区では、年3回の小中が交流した授業公開と研究協議や地域にも公開する「いじめ見逃しゼロスクール集会」等を実施し、「中1ギャップ」等の課題解消を図る。また、5年ぶりに小3～中3までを対象に長岡市小・中学校家庭生活実態調査を実施し、比較検討を行った。特に携帯電話等の項目を追加し、調査した。

3 成果と課題

長岡市の小学校の不登校発生率、いじめ認知数とも全国・県を下回っているが、しかし、不登校・学業不振・問題行動・発達障害・就学相談等、複雑な要因を背景とした困難な事例を各学校は抱えている。今後も、全教職員が一体となった校内指導体制の確立を図るとともに、長岡市小学校全体が情報交換、実践の紹介等を積極的に行う中で、課題の解消を図る必要がある。



〈旭岡中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会〉

